

(中間評価)

広大システム改革による女性研究者活躍促進

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：広島大学（総括責任者：浅原 利正）

プロジェクトの概要

(1) 新規養成女性研究者の採用計画

人件費ポイント全学調整分の 3 割程度をシステム改革分として確保し、理工農系の女性教員を採用する部局等に配分する。それにより、毎年度 4 名（平成 22 年度は 3 名）以上の理工農系の女性教員を採用する。

(2) 女性研究者養成のための取組内容

人材育成推進室に「女性研究者キャリアアップ部門」を置き、全学レベルの教員育成・支援システム（メンタリングシステム、研究支援システム、研究者コミュニティ支援システム）を構築する。

(3) 期待される効果

理工農系研究科の女性教員数が倍増する。男女共同参画推進室および大学経営企画室と連携して教員育成・支援システムを運用することにより、女性教員の教育・研究における活躍が促進する。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	取組の内容	システム改革	実施体制	今後の進め方
S	s	a	s	a	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

理工農学系分野の優れた女性研究者を積極的に採用するため、人件費ポイント全学調整分を活用した独自のシステムを構築し、所期の計画を上回り女性研究者の採用を進めている。女性研究者を永続的に採用するシステムとして高く評価できる。また、若手女性教員の昇任を促進するためのポストアップ制など特色ある施策も良好に機能している。さらに、大学の意思決定過程への女性の登用も積極的に進められ、女性研究者の活躍が推進されて

いる。今後の更なる女性研究者割合の上昇と上位職階女性研究者の増加を期待する。

・**進捗状況**：計画を上回り新規養成女性研究者の採用を進めており、また、理工農学系分野の独自養成女性研究者の採用も順調に進めている。さらに、機関の意思決定過程への女性の参画を促進するため、女性役員等4名を誕生させたことは高く評価できる。

・**取組の内容**：人件費ポイント全学調整分を活用した教員の女性限定公募を実施し、また、若手女性教員の昇任を促進するためのポストアップ制など独自の制度を導入し、女性研究者の採用、登用を進めており評価できる。

・**システム改革**：人件費ポイント全学調整分の3割を理工農学系分野の女性研究者の採用のために確保し、女性研究者を積極的かつ永続的に採用するシステムを構築しており高く評価できる。さらに、女性研究者の昇任を促進するポストアップ制も実効性が高く評価できる。

・**実施体制**：学長の直下に、理工農学系分野の部局長からなる理系女性研究者活躍促進プロジェクトを組織し、新規養成女性研究者の採用・養成を全学体制で進めており評価できる。

・**今後の進め方**：人件費ポイント全学調整分を活用した女性研究者の採用は、事業実施期間終了後平成33年度まで継続する計画であり評価できる。更なる女性研究者割合の上昇と上位職階女性研究者の増加が期待できる。